

平成28年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT28078 地理女子による、新しい原宿・表参道の魅力発見のまちあるき



開催日：平成28年10月22日(土)

実施機関：お茶の水女子大学

(実施場所) (渋谷区神宮前周辺)

実施代表者：長谷川直子

(所属・職名) (基幹研究院・准教授)

受講生：中学生1名、高校生15名

関連URL:

【実施内容】

一般的に地理学はとかく、「地図と地名だけ、暗記ばかりでつまらない」と思われていて、地理を専門にする実施者からすると、地理に対する誤ったイメージが持たれていると感じます。そこで、このプログラムでは、地理ってこんなに面白いんだよ！ということを高校生に伝えることを第1目標に考えました。

地理学では地域の特徴に着目し、なぜその地域がそのような特徴を有しているのかを理解するため、現地を見て学ぶ「巡検(じゅんけん)」を頻繁に行います。このイベントではその巡検を高校生に体験してもらうこととしました。実施者は現在科研費で「地誌的視点を取り入れた旅行ガイドブック」の研究をしており、一般に売られている旅行ガイドブックに地理・地誌の視点を入れることで旅行や旅行ガイドブックが地理の学びになることを目指しています。それに関連した授業を大学で開講しており、2016年3月にその授業成果をもとにした雑誌「地理×女子＝新しいまちあるき(古今書院)」を出版しました。この雑誌に掲載したエリアが原宿・表参道で、その授業を受けた大学生を中心として、大学生が高校生にまちあるき案内するという形で今回のイベントを企画しました。また、現地で古い地図や写真を見ながら現在との違いを学ぶためにiPadを使用したデジタル地図帳の演習も取り入れました。

受講生にわかりやすく伝える工夫として、室内演習では大学生1名に対して高校生を3～4名で班分けをして、グループごとに話ができる体制を整えました。また、まちあるき案内は案内学生1名に対して受講生8名になるように班分けをして、案内者の説明が高校生にしっかりいきわたるように配慮しました。

当日のスケジュールは、以下のようになっています。

- 10時 プログラムの概要紹介
- 10時20分 大学生・参加生徒さん簡単に自己紹介
- 10時40分 iPadを使ったデジタル地図帳の使い方(静岡県立裾野高校 伊藤先生)
- 11時 外歩き① 原宿駅、代々木公園
- 12時 昼食・休憩
- 13時 外歩き② 東郷神社、竹下通り、ブルームスの小径、フォンテーヌ通り、明治神宮
- 15時 ジオ菓子でちょっとブレイク
- 15時半 外歩き③ 表参道、表参道ヒルズ、同潤館、震災慰霊碑、キャットストリート
- 16時半 アンケート記入、修了証授与
- 17時 解散

実施の様子





事務局との協力体制

お茶の水女子大学研究協力課の担当者と、ひらめき☆ときめきサイエンス用の共通のメールアドレスを作成し、連絡を取りつつ役割分担をしながら進めました。(受付連絡は事務担当者・当日の運営に必要な弁当手配などは実施担当者といった形)

広報活動

広報としては、ひらめき・ときめきサイエンスの HP 以外に、お茶の水女子大学の公式 HP、地理女子の facebook、お茶の水女子大学のオープンキャンパスなどで周知しました。ひらめき・ときめきサイエンスの HP から見つけて申し込んだ割合が一番高かったが、それ以外の媒体から知って申し込んできた例もあったので、それぞれ効果はあったと考えられます。また、当日は日経 MJ の取材が入りました。地理女子の輪が中高生にも広がっているところ取材したいとのことでした。

安全配慮

室内演習についてはそれほど問題ないと考えられますが、今回のイベントは外を歩く時間があるため、安全配慮は重要でした。傷害保険に全員加入した上で、外歩きときには案内者が旗を持って歩き、人混みの中でも案内者を見失わないように配慮しました。また案内者以外の実施協力者や保護者はグループの一番最後を歩き、脱落者がいないかどうかに注意しました。立ち止まって案内するスポットに到着したら人数確認をしました。特に土曜日の原宿ということで人が多いことが予想されたので、一番混んでいると思われる竹下通りの歩行は最低限にして、なるべく裏道を歩くなどの配慮をしました。

今後の発展性、課題

今回、地理がとても好きだから参加した人と、地理はあまり興味ないけど原宿に興味があって参加した人、親が申し込んだので参加した人等様々でしたが、大学生とおしゃべりタイムや交流の時間を取れたので、すぐに打ち解けて、外をおしゃべりしながら楽しそうに歩いていたのが印象的でした。未来の地理女子を増やすことができたと感じました。今回は竹下通りの人混みがすごくてそこを歩くことでどっと疲れが出てしまったようでした。原宿という場所に惹かれて申し込みをした参加者も複数名いましたが、次回実施するときにはあまり人混みのないエリアで実施したいと思います。

【実施分担者】 なし

【実施協力者】 7 名

【事務担当者】

安西陽子 研究協力課 係長(研究推進担当)